

令和6年3月1日

市民の皆様へ

白岡市議会議長 大 島 勉

大山小学校の統廃合に関する「意見交換会」の記録の市公式ホームページへの掲載について（お知らせ）

日頃市議会の運営については、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、市議会の文教厚生常任委員会では、大山地域の市民の皆様のご協力の下、大山小学校の統廃合に関する「意見交換会」を下記のとおり開催しました。

当日は、忌憚ないご意見等を拝聴することができました。誠にありがとうございました。

ついては、当日の意見交換会の記録を個人情報等を非公開にした上で市公式ホームページに掲載しましたので、お知らせします。

市議会といたしましては、この意見交換会の内容等を踏まえ、開会中の第1回（3月）定例会におきまして、議案の審議を行います。

記

1 第1回意見交換会

- (1) 日 時 令和6年2月10日(土) 午前10時～正午
- (2) 会 場 柴山集会所
- (3) 参加者数 26人

2 第2回意見交換会

- (1) 日 時 同月10日(土) 午後2時～4時
- (2) 会 場 大山農村センター
- (3) 参加者数 20人

3 第3回意見交換会

- (1) 日 時 同月12日(月・振休) 午前10時～正午
- (2) 会 場 荒井新田区集会所
- (3) 参加者数 19人

白岡市議会事務局 電話 92-1111
(内線412)

白岡市議会の文教厚生常任委員会による大山小学校の 統廃合に関する地域住民の皆様との意見交換会記録

1 「学校について」のご意見等

・統廃合については昨年12月にマスコミで統廃合が決定したような状況で、来年でできるのかという疑問を持った。すでに2年後に向けて具体的な骨組ができてはいるはずで、今日はそれを聞こうと思ったら、統廃合の意見交換だと。ではこの意見交換によって、できない可能性もあるわけで、12月時点で発表されたときの統廃合が残すかというのは具体的にどういうことだったのか。3月議会で否決となれば来年の統廃合は、無理だろう。

時系列的に、どこで統廃合するか、そういう問題だって山積みになっているので、普通だったら3年、5年ぐらいの計画でやるテーマだと思う。

マスコミに発表しておきながら、まだ具体的に何も決まってませんじゃ笑い話である。白岡市として恥ずかしいことである。これだけ全国的に発表して、何ら具体的な計画、バスの手配もない、どこで統合するかもわかんないただ廃校が来年に決まっていると、それは本当に計画っていうものをいい加減に、議案の中の計画で実現するから皆さんの意見を聞かないと分かんないというのは、おかしい。

大人の事情で現状維持を言っていくということは、児童が将来どうなるんだろうと、本当に社会人として大丈夫だろうかという心配をしているわけです。だから、統廃合だったら本当に一年でも早く推進してもらった方がいい。今更統廃合はもうちょっと先のばしということはもう、やめてもらいたいです。小学校の児童の立場を考えたら、集団的な中でそういう教育を受けさせる義務があると思う。

・先が決まっていらないのに統合の話が出て、一番疑問に思うのはなぜそんなに急ぐのかということ。

大山地区の学校が廃校になるということは、地域のコミュニティがなくなり、人口はこれまで以上に減っていき、今以上に活性化がなくなる

ことになり、それを何らかの形で、地域の活性化のために何かを設けたりいろいろな策があると思う。だから、時間をかけて、慎重に協議して大山はこれからこうなりますよと住民が納得した上で進めてほしい。

将来的には確かに子供の人数は少なく維持するのは難しいかと思うが、この辺は住民も納得すると思う。早すぎる。それが納得いかない。小学生の子に本当は私はどこ行くの？まだ決められないんだよ。そんな不安な状況でこの条例を決めてからじゃあこうしますと言われても納得できない。

市は何か急いで、7年3月で統合する形で進めるというが、もう少し時間をかけて住民の納得いくような、これからの大山地区の将来的なものを協議して、安心してこれから廃校ができるように時間を設けてやっていただきたい。

・小規模特認校を設けて、なんとか生徒を増やそうと2年ぐらいやっていたと思うが、結局2名しかいなかった、何が原因かというのと、やはりアピールが全然されてない。皆さんに周知ができてない。

大山小で小規模特認校を設けていますよと、どこで周知しているのかと聞くと、ホームページでやっているとか、みんながホームページを見るわけじゃないから、もう少しアピールの仕方があったのではないかと思う。設けるだけ設ければいいやと、特認校だけで2年やったけどダメだったから仕方がないよと感じる。

・十年前十年かけてやったことは、十年ぐらいかけないとできない。藤井市長が大山地域の皆さんにチラシを出したが、この中に十年前に大山小学校は生徒が減るのは分かっていたと書いてある。でも、実際何もやってなかった、これは重いことだと思う。もっと早くやるべきだったけど、できなかった。だから、廃校でなくて、地域の人口が増える対策を出し、行動で示してもらえれば納得できるが、何もなし。今から十年前にさかのぼって戻れないんだよと前の説明会でも話を聞いた。ただそれだけで、廃校を一年以内に早くという話で進んできたので、もう少しやり方があるんじゃないかと思う。十年かけなくてもいいから、じっくりやっていただきたい。市長も十年前ははっきり言っているし今までやらな

かったことを認めているので、もう少し大山のために考えていただきたい。

・保護者意思確認書の結果で7年3月31日の統廃合に本当に納得している人はいない。これを見てわかると思うが、本当に保護者の率直な意見であり、重視していただくことを切に願う。

そして、これは統廃合だけで地域振興には関係ない。まちづくりの観点から、本当に考えているなら、大山小学校の跡地然り、大山地区のコミュニティの場が何も無い、農村センターもいつ無くなるかわからない状態で、防災であったり、集合するとなった時に小学校も何もなくなってしまっただろうか。そちらがすごく重要なところだ。

不安要因がいっぱいのところに、子供たちが行く場所もまだ決まっていない。それで話だけどんどん進めていって、あと一年でいうのは急すぎです。何も決まっています。行き場のない子供たちはどうなるのか。

その統廃合でもすぐ決まるわけじゃないですよ。3月議会で決まりました。じゃあどこに行くんですか？西ですか篠津ですかなんて言っている場合じゃないと思うのだが、市は廃校が決まってから学校を決めるという報告をしていますよね。学校行き場所が決まってからの統廃合で遅くはないんじゃないかと思う。

・保護者意思確認書の集計結果は、保護者の切なる思いがここに現れていると思う。その中でも仕方ないところももちろんあると思う。

ただ、7年3月31日というのは、早すぎるんじゃないかというのが一番ここに不安があるわけで、児童がどこに行くのか決まってないところも不安だと思う。

・市はこの統廃合に関しては二、三年前から話が出ていると思うが、教育委員会から、その時にこの急に決まったと言うのは地元の住民に説明会をするのが遅くなったという。しかも回数が少なく、もう統廃合しかないという感じでいってきて、その後に統廃合ありきのアンケート。これしかないんだよというような、こちらがそういう考えになってしまった。

子供たちのために何が一番ベストなのか、この後の大山活性化の方が頭の中にある。では大山小学校を休校とするのか。人口が増えてきて、子供が増えたら復活できるのかといったらそれはもう無理である。では、子どものためにどこが一番統合するのにいいところなのか、通学の時は何を使って通学できるのか、バス通学になるなら安心であることもプラスに考えなきゃいけない。

大きい学校に行って、小さいお子さんはすぐ慣れてしまうだろう、それも子供たちのためじゃないかという意見がでたが、それも一つの案として考えていかなければならないが、中に入って一回いじめられるとずっと不登校になってしまう可能性もある。

私は大山中学校に行っていない。廃校になり篠津中学校に行った。その時にバラバラのクラスにみんな入った。初めはいじめられた。お前大山だろ、何やってんだお前らとか田舎の方から来てとか、そういじめられた。喧嘩もした。ただ一年たったらそいつが親友になった。そういう事もある。ただ、みんながそうなるとは限らない。

ただ、大山小の先生をそのまま配置してもらうことも一つ、大事なことだと思う。135年続いた大山小学校は来年の3月でなくなってしまうのは本当に寂しい話です。ただ、寂しいから反対だ。じゃあ子供たちをどうするか。特殊な学校を作って、ほかの学校から来てもらう案もない。

・いつに廃校にするというインパクトの大きいものだけを先に持って来て、どこの学校に子供たちが行くのか、どうやっていったらいいのかが、教育委員会は先だ先だという説明しかなく、大人の都合だけで子ども無視であり、経済効果の悪い小さな学校は捨てましようと言っているようにしか聞こえない。だから何が何でも反対。

・状況からすれば、統廃合が必要な時期に来ている、おそらく100%に近い皆さんの良識の中にはあると思う。しかし、ここで問題なのはやり方の順序は確実におかしい、閉校が先でいつ閉校にするか、それを決めないと子供たちが通えるところも決められない。友達もわかんない、行く方法もわからない。

大山は中学校がもうすでに統廃合しているので、そういう方向性は分かっていると思うが、子供無視の状況が今、作られているのではないのかなという印象です。

・進め方がまず真逆な印象です。市長もいまだに統廃合この議案が通らないとできないと言っているようですが、ぜひ順序を変えて、保護者・子供が納得してしょうがないよねと言える準備説明会をやって、しょうがないよねと思えるような、結論に持って行っていただきたい。

結果的には、方向性は揺るぎないものだと思う。そういう中で子どもたちが置き去りにされていることが、一番許せないと感じている。

・まちづくりの点からいっても、大山小学校がなくなるということは、今後この地域に人は増えないなど。誰しも思っているだろうが、当然ながら学校も無いようなところに若い人が戻ってくると、新しく住み続けようかっていう気にならない。そういう効果が今後、顕著に出てくる中で、さあ街づくりをしましょうと、すごいハードル上げていますよね、そういうふうに感じられます。

今回、統廃合というか廃校ですよね。ぜひ説明を順序を変えて、父兄、地域のかたが納得できた上で、こういう方法で新しいこの学校いくんだよってというような説明ができないといけない。誰も納得しない。堂々巡りだから市がやっていることが、みんなが感じるところの真逆をやっているんじゃないかと思う。

・今回の統廃合においては、数々の問題も出てきて、保護者として当事者としてまだまだ違和感が拭えないというのが正直な意見です。

実際に統廃合という方向性が決まってからも、だいたい2回程度しか行われていない説明会で十分に説明したと言えるのか本当に疑問である。中には4日前とかに言われて参加できない人もいた。保護者は実質一回しかない。説明会も方向性が決まったという話しか聞いてない。保護者の方々ほとんどの方が今どうなっているかわからないと言う。この状態で3月議会で廃校を決められるかどうかというのは普通に考えたら、ありえない。

・先日行われたPTAでやっていただいた保護者のアンケートを見ても、ほとんどの人が統合することに関して反対で、説明も何もほとんど受けてない中で廃校が決まるというのはおかしいという意見が多くあって、アンケートの中でもほとんどが時期尚早だという。

これを見れば一目瞭然で、判断が普通だったらできると思うが、これがいわゆる民意であり、そこを理解していただいて、やっていただきたい。

あと子供たちのためにとさんざん言われたりしていますが、子供たちのために必要なのは廃校ではなく統合先である。先に子供たちに学校が潰れることを言ったって何もならない。これから、その子供たちがどこに通って勉強するのか、そういう方が重要である。子供達の為にとということとはそういうことである。

・統合をしっかりと決めて、それが充分整った段階で廃校の時期が見えて来るとというのが普通だと思う。

まず廃校を決めなきゃ統合先の学校も決められないというのは我々保護者にしてみれば、早く廃校を受け入れろという脅しにしか聞こえない。

子供たちも今の状況で急に人数が多くなるのを不安に思っています。人数が増えるのが嫌だとかいっていたりもするけど、ある程度もう子供たちも分かっていると思う。だから、早く安心させるために廃校先を決めて、保護者たちも安心して次の学校に行つての体制をしっかりといろいろ協議して決めた上で廃校と言う流れにちゃんともっていけるようにやっていただければと思う。だから廃校がありきというのはちょっと話がおかしい、そして違和感を覚えるところだと思う。

・先日、入学説明会の時に初めて聞いたという保護者がいて、その前の説明をしてなかったなので、急に来年一年で学校なくなりますと言われて、じゃあ改めて総合先の学校に行きたいという話があったとしても、決まってないですとなり、現状どこに行つていいかもわからない状態を生み出しているのが、この来年度いっぱいというスケジュールによる影響が出てしまっているの、やはりアンケートでもあったように8年と

か9年ぐらいのしっかり準備を整えてからやるのが一番いいんじゃないかと思う。

・実際に来年度の一年生で、大山地区に家を建てて、通わずつもりで篠津から引っ越してきた方がいる。それで結局今、一応大山小に通うかもしれないという状況です。

実際に篠津にするか、統合先が決まってないので結局選べない。新一年生の保護者ですよ。その点に対して、そういう家族に対して何かできないのか、非常にいけないんじゃないかと思います。実際その方もまだ決めてないという状況です。どっちに決めるにしても非常に困難になると思う。

・教育委員会も今篠津と西っていつていますけど、バスは一台しか出せませんよと、そうではなくてできる限りのことはやってみますという姿勢が見られないので、みんな納得ができないところがあると思う。

10年先、20年先を見てやっていかないと、今の目先のことだけじゃなくて、このことを見つめた後を一緒に考えていただけたらと思う。

・学校の課題が結局は地域の活性化にも絡んでくる。施設が学校だと使いかたがどうなるかわからない。あるいはイベントとか、ある場所が使えなくなっちゃうんじゃないかとか、色々出てくるが、今の段階ではまず教育委員会の話として、子供たちをどう育ていくんだという視点からやむを得ず合併しなくちゃいけない、それはわかったけど、順番を変えるのだったら、その順番を変えた上で議案を通して欲しいという感じがする。

それから住民との話し合いを詰めてもらうのは、PTAの方、あるいは地域の人との協議会を作って学校をどうするんだ、ほかの学校とどうするんだっていう、協議会をすぐ作ってもらって、そこでもう話し合いをしてもらう。

それで学校の子供達にこういう環境でぜひやってもらいたいということ、地域の意見をどんどんやっていくと、それで次の4月までというのなら4月までにその結論を出して学校運営していくという。

だから是非、話し合いが少ないって話もあるけれど、まず結論としてはやむを得ないんだけど手順が違うんだから、その手順のところだけ先に審議会開いてもらって協議会開いてもらって、それで学校の行先だけでも先に決めてもらって、話し合いができるようにしてもらいたい。それを教育委員会に強く要望する。

・従来の動きでないことへの強い地元からの要望。本来であれば一定の手順で審議は審議するけれど、最終的な決定についてはまた議会が決定した後じゃないと決められないという。

しかし、実は地域にとってはまず一番決定する段階。先に学校が決まってないのに議会を通してくれて意見自体がもう乱暴なんだってことなので、ぜひ審議会の中で統合先を決めてください。それを公にすることができるわけですから、それをもとに大山小学校はそちらの学校でよろしいですかっていう意思決定の議会議決というのができるんじゃないかなという気がする。

・まずは統廃合はやむを得ないんだろうなという流れ、ただ段階の作り方が違う、来年の4月というのは拙速だなというところがある。修正して附帯決議を付けるとか、規則で定めるなどして、期間も範囲内で閉校は決める。その間に学区審議会であるとか、皆さんにご説明を尽くすであるとかという形、方法論になってくるができないのかなと思う。

・学校がなくなるというのは、非常に寂しくて辛い思いがあります。でも、これも時代の流れの中でしょうがないかなという気持ちも持っています。

けれどせめて、今まで通ってきている両親や父兄もいるし、子供たちもいるのだから、説明会をやって、みんなの意見を聞いて、それを集約して結論を出すということをしたほうがいいんじゃないかということをお話したが、これ一枚で終わっているわけです（市長の手紙）。寂しい紙一枚だが、できれば説明会をやっていただくことが必要んじゃないかと思う。

文部科学省でも、学校を統合する場合には、いろいろと地元の意見を聞いたほうがいいと。それには説明会をちゃんとやりなさいっていうこ

とが書いてある。紙一枚でお前ら、了解しろよということはちょっと無理なんじゃないかと思う。

・私は保護者でもあり、ここで生まれ育った一大山っ子でもありで、今回この廃校の話が昨年3月に一度、意見交換っていう形で始まったのがあった。次にたしか8月にあって9月にあって、11月もあってアンケートを取って、回答はこうでしたという報告会のようなものもあった。

でも結局は何も決まってない何も決まってないという中で、急に12月には条例出しますよ。いきなり廃校の議案でそこで不審になってしまった。年が明けて1月のPTAの役員会の方に出席したが、そこで令和7年3月には統廃合することを前提に進めて行くとのことだったが、ここまでのプロセスがやっぱり急すぎるから心の準備は正直できてない。

・ここで生まれ育ったからには統廃合は正直反対。ただ、今の子供を考えると将来的には廃校もやむなしなのかなと。ただ、プロセスはきちんとしてほしいというのが正直なところ。

これは大山地域づくりでの意見になるけど、学校がなくなれば、ここに住む意味というか、価値というのも正直になく感じる人が多いのかなと。将来的には市では市街地を中心とした開発だとかを進めていくようだが、インターがあって国道が通っていて、これだけ他と違うものをもっているというところにもっともっと大山地域を考えてほしい。普段の買い物ですら、スーパーが近くにないので。

・大山小学校が廃校になると聞いてすごく残念だなと思ったのが第一印象です。子どものために集団に入れさせようと思って今も頑張っているが、子どもの心がまだ集団に追いつかない。大山小の保護者の皆さんは、温かい方がいっぱいでした。地域の方たちの色もすごく見えてきまして、大山は温かいところだなとすごく感じた。

・継続するということが私はうれしい。地域の方々がどのようにもっていかってというのが知りたいし、これから期待したいと思う。

・まだまだこれから子どもが増える可能性もあります。バス、タクシーに乗って学校に行く。親が送り迎えする、そういうことはどうなのかなってというような気がする。物流センターだけでなく、人口を増やせるような、環境も作って頂きながら、学校の存続できる施策をお願いしたい。

・可能性があるとしたら小学校は存続して欲しい。

・是非、大山の文化圏を守るためにも小学校を存続してもらいたい。

・若者向け住宅支援をやれば、子どもを育てるための住宅で充分入れると思う。過疎化対策をずっとしていないから、人が減るのはあたり前だと思う。小学校廃校しますというのは、逆ではないか。

・できるだけ早く学校の登下校の手段をきちんと整えて、統合の方法をとってもらおう。ぜひ議会の方で導いてもらいたい。

・白岡の方へ家を借りて引っ越そうか、と真剣に悩んでいる。できるだけ早く統合をしてもらいたい。子供の教育を基本に考えていただきたい。

・ある程度組織ってというのがあり、その中でどう生きていくかというのが、大きな問題だと思う。早めの段階で経験するというのは、大きな財産になると思う。

・人数が6人ぐらいになると結局、何もできないような状態だと思う。これから何かを始めて人数を集めるというのは無理がある。もっと早く分かって、早く動いていただければよかった。

・今、通っている家族の声を大事にしてほしい。

・一番はPTAの父兄の方だ。保護者の方とお子さんです。現実に通っている人の意見を一番尊重してほしい。

・小規模特認校では方策として、「こんな児童生徒に育てる、こういうことで児童が変わった。」そういうふうにした方が良かったのではないか。

・廃校については、まずその廃校が先に決まるのではなくて、学校を見直すのであれば学区を見直すということがまず先にあり、その中で、それを踏まえた上で学校をその学区の中で最適な数にするというのが当然だと思います。

そういう意味では、「学校を廃校にするというのをまず先に決めたい。その後で、ではその廃校した後の学区というか大山の子ども達は、どういう学区の中で小学校に行き、中学校に行って卒業するのか・・・。」ということになる。そっちの方が全くわからない。廃校にした後に、「今年の4月には篠津に行くのか西に行くのか、検討色々と審議して決めたい。」何か順番がおかしいのではないかとということで、まずその先に廃校を決めるということについては全く反対というのが私の意見です。

・もう一つ、（議員）も色々と言って頂いていますが、やはり小学校、学校教育、これから人口が減ってくるところで外国の方も来るし、また、大きい学校の中でなじめない子もいて世の中ではフリースクールみたいなところもあるわけで、そういった視点で見ていると、行政施設の合理化だとか、上手いこと言ってその弱いところから追い出して数を減らしてやっていこうというような風にも疑ってしまうようなやり方ではないかと思う。

・あともう一点は、「（小規模）特認校にした」と、「3年間頑張ったけど、成果が出なかったからもうしょうがないんだよ」と、その3年間ってというのはコロナ禍で何もできなかった3年間じゃないですか。もってそれで結果を出すというのは、いかにもそれをそれと言わずに、「ちゃんとやったんだ」みたいなことを説明するっていうのは、これは非常に不誠実だと思いました。

・子どもたちのことを考えれば、大きい学校に行ってみるといいということも良いのだという面も多々あると思いますので、そこはそこで考えなければいけないと思いますが、それは、子ども達にそういう環境を与える。それはそれで（どうなるか）わかりませんが、やってですね。廃校はまた後で決めると、それだっていいのではないですか？

・賛成か反対かというのは、早い時期の統合というのは反対です。子どもたちのために何が一番良い、どういう風にするのが一番良いのか、あまり児童が減りすぎて困るし、このままだと減る一方なので、そのままでは困るので、子どもたちのために一番いい方法は、やっぱり人が増えて、児童が増えて、大山小学校が存続するということが一番良い。

ということで、去年の6月にここで市長とそういう話をしまして。市長は、「やりましょう。」と強く言ってくださった。「増やします。増やす活動をします」ということを言ってくださったのですが、半年以上たっても、何の動きも見えないようですし、動いているのか分かりません。結果は出ていません。

なので、来年の3月と言わずに、もっと長い目で見て、まずは、地域に人を増やす。方法は色々あると思います。そういうことを考えて頂きたい。市長だけじゃなくて、議会でも考えて頂きたいと思います。

昨日ですね、学校に行きましたら父兄の皆さんは、人が減るのであれば、統合やむなしということも考えていますが、やっぱり来年は早すぎると、再来年、その次と言うことを考えているアンケート結果をいただきました。皆さんのお手元にも届くかもしれませんが、やっぱり来年の3月はあまりにも早急過ぎる。やっぱり学校廃校ありきだけではなくて、やっぱり地域の活動と合わせて大山地区はどうなるのかっていうこともあわせて考えていかないと、これからですね。

若い人が子育てをする時点で、「小学校がなかったら、大山に住みますか」ということなんですね。なので、人を増やすこと。これは、行政の方で考えていただいて、我々もできることをやっていきたいというふうに考えていますが、そういうことをして、まず人を増やす活動をして頂きたい。

それで、あれもやったこれもやった。だけど、どうしても少ない。ということであれば、その時にはやっぱり子どもたちのことを考えて統合もやむなし。その際、やっぱり不安なものは父兄の皆さんの不安なことはすこしでも取り除いてあげる。そしてやっぱり。やっていくべきじゃないかなと言うことがありますので、まずは人を増やすことが大事かなと。統合ありきは反対です。

・まず、12月議会で議決して頂かなかったことに、お礼を申し上げたいと思います。というのも、議会とその教育委員会の関係ってよくわからないんですけれども、一般的には、あのこんな重要な未代まで影響を及ぼすような議案をいきなり出してきて。

それで、文教委員会の皆様方がどこまで理解しているのかなという気持ちがありましたので、3ヶ月延ばしてもらったということが非常に重要だったと思います。

こうして改めて、我々の意見を聞く場を設けていただいたわけですが、事ここに至っては、3月にもし議決をするということになれば、このあと例えば、来年の4月から統合しますと言う場合にあって、子ども達はどうやって行けばいいんだろう。

例えば変な話ですが、嫁入り先の決まってないような婚姻が整いますか？ということですね。どこ行ったらいいのか、これから決めます。そんな案がありますか？ということですね。世の中に通用しませんよね。それと廃校で(学校が)なくなった後の利用もわからない。

それから、「大山地区の活性化のビジョンを示します」って言うても、言葉だけですから、そういったメニューも揃えないですね。ただ「廃校にします合併します。どこへ行くかわかりません。これから何するかわかりません。」そのような案を住民に示して。「これでどうだ」って、こういうのは、めちゃくちゃです。

そもそも、こんな重要な法案を、もっと市長なり教育委員会なり、それから文教委員の委員さんと、どうしてもっと話をしてから、提案をしていかないんですか？白岡の議会はどうなっているんだ？というように私は思います。そんな重要な事をいきなり出してきて、「さてと、とりあえずその継続にしましょう。でこれからまたみなさんの話を聞いて」って、これお粗末ですよ。

これすごい話なんです。100年以上続いた学校を潰して、この住民から奪っていこうということなんで、そんな議案を急に出てきて「住民に何回か説明しました」って、説明したって納得してないんですよ、皆さん。それで、賛成反対になっていきますけれども、やむを得ずなんですよね。もう無理やり「このこれでどうだ？これでどうだ？こんなに子どもが少なくなったじゃないか。どうだどうだ」って言われて、「じゃあしょうがないか」と、こういうように賛成じゃないんです。そこを勘違いされては困るんです。

ですから、とりあえず議会のやり方は、よくわかりませんが、3月の議会では、議決をしないという、例えば廃案にするとか、継続審査にするとか、そういう方法だってあると思うんです。それで、また最悪の場合でも、例えば、来年の4月からは無理だから、二年後にしますので、その間にも少し話をしましょう。と附帯決議的なことみたいなことも考えられると思うんです。

だから、いきなり賛成か反対かで議決しますって、そういう議案じゃないと思うんです。やっぱり皆さんの総意、それからもう一つは、

統合される先の人たちがどのように考えているのか。そういうことを示して行かないと、「いやだけど、いやいや、大山から来るから受けるんだ」とか。

そうなった場合、子どもにどういう影響を与えますか？親がどう考えていますか？大山の子どもが来るんじゃ、例えば西小なんかはコンピュータ室まで潰しちゃって教室をつくっているところに、また大山が来て、学校の人員が増えちゃうじゃないですか。子ども達、「嫌だよ」ということに万が一なった場合には、その後の大山小の子ども達にどういう影響を与えるんだ？そういうことまで考えて、時期とか見ていかないと、これは、誰がどなたかが号令でやっているか私は知りませんけれども、あまりにもその強引すぎます。

やっぱり、今そのこの時代において、日本全国において、そういうことがいくらでもあるわけですけども、こんなに簡単に進めていく、議会はないんじゃないですか？何回も何回も何回も何回も練って練って、その上で議会にかけて、議決しているんじゃないでしょうか。私は、非常に、議会運営に、3月の活動に、本当にありがたいと思っておりますが、そういう市当局とそれから議会議員さんたちの関係っていうのは、非常に疑問を持った次第でございます。長くなりましたけれども、以上でございます。

・その後近年ですけども、令和3年頃ですか？大山小学校の人数が減りました。それで、小規模特認校を導入したんですけども、いろいろやったと言っただけでも、なんか公にはなっていないわけですよ。

それで、昨年8月頃から、突然のように大山小学校統廃合、令和7年3月31日の廃校、なんで廃校なんですかってなります突然でね。先程、(地域住民の方々)が言ったように、廃校を先に考えるって基本的におかしいと思うんですよ。若い人も多分そう思っていると思うんですけども。

それで住民の方々にも色々市の方から説明ありまして、(行政区)の方にも11月12日に説明がありました。若い人も色々意見を言いました。それで、その時に市長さんが遅れてきましたけれども、「地元の皆さんの理解を得てない限り12月議会には出さない」ということ言ったと思うんですけど、覚えていませんか。(参加者から、「言った」の声・笑い声)。こういうことをみんなの前で実際言っているんです。

その後、なんか知らないけど、ランタンナイトがとか知らないけど、急に議会に出したくなっちゃったのかね。まして12月になったらこの地区だけ議会に出しますというビラだけ出して。篠津の方に人(知り合い)がだいたいいますので、こういう(ビラ)ができて小学校の話はだれも

知らないって言うんです。白岡市でそういうことがあっていいかなというふうに思いました。

12月くらいに話を聞いて、12月議会には都合で行けなかったんですけども、継続審議ですか？それが文教委員会で12月に通って今回に至っているわけですけども、もし3月に議会に出して通ってしまったら、まだ小学校も決まっています。何も決まっています。それ(条例)だけ決まって廃校しちゃって、ギリギリになって〇〇小学校ですね。バスで行きます。じゃあ、運動着は市の方が提供します。ということになって、はいじゃあこれで宜しく進めてください。ということで、なんかすべてが終わっちゃうような気がしてしょうがない。

すごく不安です。そのようなこともあるので、なんとか個人的には、伝統ある大山小学校を、地元の人々とよく話し合って、知恵を出し合って、なんとか存続かせめて休校、廃校はちょっと早すぎるような気がするので、そういう形を取ってもらえないだろうかと言うのが本音です。

もっともっと。十分な、誠実な、市の方と。今まで一方的な感じもするんですけど、皆さんどうですか？もうちょっと地元の声聞きながら、キャッチボールしたくても、こっちがいい球投げても、市の方から剛速球だったり暴投だったり、とでも、受け取れないようなキャッチボールになっちゃうんで、やっぱり、みんなの声を聞いて、進めてもらいたいなと思います。

・やっぱり小学校がなくなって、いくら人数が少なくなっても、この後の話になるかもしれませんが、この地区何もなくなっちゃうと思います。そういった意味で、十分な話し合いをした結果、廃校もあるかもしれませんが、あまりにもちょっと、一方的で、速すぎて、こんなたった4ヶ月ぐらいに提案あって、地元の説明しましたと(市は言うけど)、地元の人には納得したんですかと言うと、地元の人には納得しますっていうけど、本当に70%っていうのが納得した数値なのかどうかはそのすごく疑問に思っているんです。

先ほど言いましたように、古い話ですけども、活性化で調べて大山小学校どうしようかと言ったときに、こんな狭い白岡の中で、1家族全員というところあると思うんですけど、それで441人という署名が預かっているんですよ。なので、もうちょっと誠実な話をしてからでも、今後の大山小学校の在り方っていうのは、いいんじゃないかという風に思っていますので、ぜひその辺を汲んでもらって、議会のこともよく話し合って、じゃあ、大山地区をどうしよう。ということになってくれば、やはり一番いいなと思います。

今後のこともありますけれども、もうちょっと時間経ってからそういう話になった時に話せばいいかなと思います。結果的に、大山小学校はこんな早く廃校してしまうとかそういう無謀な考えはちょっと待って欲しいのが率直な気持ちです。

・私は外に出てしまった者なんですけど、卒業生として一言、言わせていただきたいと思います。

他市で学区審議会の委員をやったことがあります。それで実はこの件があって、いろいろ情報が入ってきたので、白岡市の審議会の議事録のほう見させていただいたところ、まず最初に、他市はだいたい学区審議会が常設されているのですが、たしか白岡市は白岡中学校が開設され以来、白岡市には開設されていなかったって結構異常なことで、実は皆さん知らないと思うのですが、それも、議事録の中に、学区審議会の中では学区については討論しないと記録に残っていますね。

実はほかの学区審議会の委員の方からヒアリングしたのですが、統合は関係ないと言っていたので、実は白岡市は議員と役人の皆さん意外に答申をもらう場所がない。これ、他の市から見たら異常です。

だから皆さん早いつて言っているんで。議員の皆さん一回しっかり学区審議会とか、そういうの常設で作って、そこで話してからでも遅くはないと思うんですよ。なんで遅くはないかという、私が大山小学校を出た時に120人を切ったぐらいです。40年も前です。ほったらかしていたんですね。

そういうのにも関わらず市長が変わったのか、副市長がよく分からない県庁から来たのか。それが変わって、その感情なのかわからないけど、それでここ1、2年で、はい「子どもたちのために」なんてみんな嘘つくんですよ。議員だったり。そうじゃなくて考えるんだったら学区審議会とかって、住民に説明をして、学校どこに行きますか？どういうふうに行きますか？そういうすべてプランを立てて提示して、住民に説明をして納得したらいいわけじゃないですか。

40年、ほったらかしていたんですよある意味。それも子どもたちのためになってなんか市長がなんか書いていたんですけど、何も子どもたちのためじゃないですよ。子どもたちのために考えるんだったら学校交流させて、合併するときには、お友達がいる状態の子どもたちになるわけじゃないですか。だから言うなれば、全然子どものことを考えてないんですよ。

それで噂で次のところが入ると決まっているとか、だから期日が決まっているんだろうと。これ、住民がきな臭いなと思っちゃいますよ。みんなばかじゃないですから。笑っている議員さんいますけど。

それであと皆さんも言わないんですけれど避難所ってどうなるのですか？大山小学校をよく見ると建物じゃなくて。体育館と校庭使うだけだと思うんですよ。ここで何かあるとしたら地震と昔と洪水なんです。これ、体育館に皆さん行ったら皆、水でうまっちゃいますよ。次どこが(大山小に)入るのか分かんないですけど、学校の施設使えるんですか？避難所どうするのですか。結局、それも提示してないんですよ、実は。だからもう本当嘘つきだらけで困っています。

やっぱりそういうことをしてもらわないと。それに市長はね、確か前の市長選のときになんか道の駅を作るとどうだって嘘を言ったらしいんですけど、予算を見たら計上されてないんですよ。次の市長選の時、大型のどっか作りますよって誰も信じないですよ。だから、住民が疑っちゃうような進行の仕方をしているのは明らかです。

もう少し他の市を見て、どういうふうになれば住民が安心して合併だって進んでいくのかっていうのを、少し議員の皆さんが学ぶべきだと思います。ちなみにすごい言い方していますが、PTAをすごく長くやっていたんですけど。白岡の教育委員会ってなんて言われているか知っていますか？ポンコツって言われているんですよ。これはもう有名な話。議員の皆さんこう言っています。白岡の議会なんて言われているか知っていますか？低レベルって言われるんです。

私、外にいるからわかるんですよ。だからもう少し勉強された方がいい。最後に。えっと先ほど(個人名)さんも言った通り、お留守番禁止条例ですか？あの時、確か白岡の議員、誰かわかんないんですけど、いち早く。あれは住民を無視していると手を挙げたじゃないですか。色々素晴らしいなあと思ったんですよ。

今回見たら、その人たちは住民無視しているんですよ。何やってるんだと。見ていて、なんか市長派だ反市長派だとやってて。大山を政治の材料に使うんじゃないよ。外から見てすごく思うんですよ。だから是非ね。今回ちゃんとそんな俺たちは自民党だ。何党だ関係ないですよ。(前県議)だ。なんだあの若い県議。わかんないけど、その派だって俺たちは関係なくて、しっかりと住民を見て政治とそれで判断していただきたいと思います。

・やっぱり若い人の意見を良く聞いてほしい。

・私は今高校生で、大山小学校を卒業した者ですけど、私の代は、同級生が14人いて、多分大山の方では多かった方です。中学校に上がる時に、西小の子と一緒にいるじゃないですか。その時に大山の少人数(の

学校)から来たから、田舎者扱いされないかなとか、一緒に話してくれるかなとか、すごく不安だったんです。

以前に、大山小学校を壊しちゃう理由は人数が少ないから、自主性が無いとか、団結性がないからと(説明会等で)言われたんですけど、中学に入って、怖い気持ちはあったのですが、西小の子から話しかけてくれたり、いじめられないかなって思って、その分自分から話しに行ったり、団結性が無い子っていうのが私の代では、一人もいなかったです。人数が多いからやらないとか、そういう子は一人もいなかったし、私の代だけかなって思ったんですけど、下の代の子とかも、ちゃんと自分から行ったり、西小の子と話したりとかちゃんとしていたんです。

それで、大山小学校は人数が少ない分、経験する数が多いと思うんです。中学に上がったら、外から人がきて、じゃあ3人までこれできるよとか、人数が限られちゃったんですけど、小学校のころは人数が少なかったから、全員できるよっていうことがすごく多かったです。

その分、これ私やったことあるよとか、これはこうするんだよって言えることとかがすごく多くて、だから、その人数が少ないからデメリットしかないってことは全く無いし、その友達とかも作りやすかったし、女の子のしかいない代があるって、それが、男の子がいらないからダメってことを言われたんですね。前の話し合いみたいなもので。

それは、小学校の頃は人数が少なかったから、同級生としか話さないってことがなくて、一年生から六年生まで全員名前も知っているし、遊んだこともあるしみたいなことが多かったから、ほかの代の、男の子とかとも話せるって事が結構多かったです。

だから女の子のしかいないからダメとかそういうのは、まあ小学校全体の女の子になっちゃったら、それもダメだと思いますけど、ほかの学年に男の子がいるなら全然その人とかと話せばいいと思うし、あと、その団結性が無いとか自主性がなくなっているというのは。本当にもうまったくないので。ぐちゃぐちゃになってしまったんですけど、小学校が、人数が少ないからダメってことは全くないと思います。

・今日はこういう場を設けていただきありがとうございます。私の娘は今、高3と高1で、あの2人ともやっぱり大山小の出身です。今日、本当に行きたかったと言っていたんですけど、ちょっと来られなくて残念だったんですが、やっぱり上の娘も言っていたのは、あの一部の議員さんだったり、市長さんだったり、小規模は悪みみたいな言い方するんですよ。

それで、小規模だとコミュニケーション能力が育たないとか、学力が低下するとか、それ全然理由にならないんじゃないのっていうことも持ち込んで、だから無くしますみたいなのは、本当にむかつくよねって娘が言っていました。

自分も全然そういうことも問題なかったし、今、（地域住民）が言ったみたいに、中学校上がっても普通にコミュニケーション取れるし、なんでそうやって大人の人と言うのかなってすごく言っていました。

私もそれはすごく思っていて、やっぱり小規模だからこそその利点もたくさんあると思いますので。結局なんか何か裏があるから、そんなに閉校を急いでいるんだろうとやっぱり住民は勘ぐりますね。何か理由があるんだろうっていう。

それで、なんかここ最近の動きを見ていると説明会とか一応設けてはくれますけど、もう実はゴール決まってるんじゃないのっていうのが正直なところですよ。ゴール決まっているんだけど、とりあえず住民の人になんかしておかないと後から文句言われたりするから、だから、その回数重ねて一応やりましたよっていうことを作りたいだけなんじゃないかなって。

正直思っていたんですけど、今日のこの場はまたちょっと別だと思えますけど、だから、私も、実はもうどうせダメなんだって言うってもしょうがないんじゃないかなって、正直なところ思い始めていたんですけど、やっぱりこのここに今参加して、いろんな方の意見を聞いて、あ、でもやっぱり残した方が良いんだなって、自分も大山小の出身者なので、やっぱり大山地区っていうか（行政区）も好きですよし、うん、やっぱり小学校残していったほうがいいなあ。残してもらえたらいいなってやっぱり思いました。

何しろ期間が短すぎて、これで令和7年の3月に閉校するっていても、準備が全然進んでないと思うし、やっぱりその子どもの為に子どものためにとって二言目には子どものためにとっていう方が多いんですけど、全然子どもの為になってないでしょって思っています。何の交流もないのに、いきなりポンって小学校のうちに大きい規模のところ少人数で入れられて、いくら、先生をくっつけるって言ったって、今の子どもって割と複雑な子多いと思うんですよ。

そんな綺麗事じゃ済まされないというか、やっぱりそれなりに準備を進めて交流をさせてあげて、いずれ行きましようねっていう。そういう段階を踏んであげた方が良いんじゃないかなって思うんだけど、二言目には子どものためにとか言って、すごく答えを急がせて、早くあっちに入れちゃおうみたいなのがすごく見え見えなので、それはなんかすごく住民無視しているなっていうのがすごく思います。

ここ何十年で、結局、原因があって結果があって、今のこういう状態があるんですね。その当時の昔の方々も、そうやってどうにかしてくれて訴えていたのに、結局なあなあにされて(しまい)、大山地区って舐められてんだなっていうことがすごく多いし、後回しにされた結果が、今こういう状態になっているので、やっぱり地域の活性化も、何かやれば住民も協力は何でもするので、只々「もう学校はもう閉校です。そのために納得してください」っていうこのやり方も藪から棒だし、もうちょっと住民の意見を聞いていただいて、仮に閉校するにしても、もっとちゃんと順序段階を踏んで、それこそ子どもの為にと言うんだったら、子どものためにどうしたらいいのか、本当に一番考えていただいて、少なくとも今のやり方は全然子ども無視だと思っていますので、大人の都合で、何かそういうふうにさせるんだらうっていうことが、見え見えなので、住民は多分納得いかないと思いますので、その辺の意見を聞いてもらって、進めていただきたいと思います。

やっぱりその白岡って人を寄せる構想がないというか、あの観光協会もあるみたいだけど、何のために観光協会あるのかな？それぐらい観光する場所なんてないし、唯一私はあると思うのは、やっぱり柴山沼がいいんじゃないかなと思うんですけど、なんか一向によくなる感じもないし、駐車場狭いし、トイレも少ないし、そういうところから、どんどん人が集まる場を作って、こっちに人が流れてくるようにしてくれたら、もうちょっとこういいのかなとも思います。纏まらないんですけど以上です。

・(子どもの意見を聞いてもらいたいという意見が議会で出たことを受けて)今の子どもの意見っていうのは、私もそう思ったんですけども、高学年の5年生とか6年生ならある程度聞けば、こういうふうなんだっていうのを話してくると思うんですね。だから、そういう子どもの意見っていうのが、私が一番、ちょっと今見たとき重要だと思って、いろいろ子どもの意見を聞いて参考にさせていただきたいと思います。

・この(回覧で回ったもの)の質問の4になります。通学方法と経費はというのがありますが、発想の転換というのを考えてもらえばいいかなと思うんですよ。

大山住民はね、中学生になるとバス通学で中学に通わせているんです。それでね、このバス通学を、中学生で行くのを今度は、人数の多い小学校から人数の少ない小学校の方へ、バスで送っていただければ、発想の転換として、中学生をうちらの方は送っているんですから、今度

は小学生を大山小学校へ送ってくれるように方法を取ってもらえば、多い方から少ない方へ来るんですから、条件はいいと思うんですよ。多い方に、もっと、そこに来て多くなってあれですけど。

建物がなくなっちゃうんだったら別にですけど、建物は立派な建物や校舎があるんですから。そこに他の小学校の生徒さんを送り込んでもらえば。少人数でやっていけないっていうことはなくなるんじゃないかと思うんですよ。で、私も自分のせがれ、娘たちは中学の時に通学バスの委員をやっていまして、それで毎年4月になると、あの来年の契約に〇〇観光に契約して、そこで執務室に行きまして、来年またお願いしますと契約書にハンコを押して。一人3000円。2人行っているうちは4500円の経費を払って、通学で送って、そういう時代だったんです。今無料ですけど、その頃、大山地区の人は一言も、経費が高いとか、大変だとか、そういうのを言わずにちゃんと。そういうのを決めてくれた人の意見に従って、行っていたわけですよ。

だから、他の小学校の父兄さんにもお話をして、大山小学校は人数が少なくてやっていけないんだけど、こっちによこしてもらえるかと言うような話もして、大山小が存続するように働きかけをしていただきたいと思います。以上です。

・先ほどの意見の中で、子どもの意見を聞いた方がいいんじゃないかと、そんな話があったと思うんですけども、自分のうちにも孫がいます。もう中学生で3年生。二番目が今度1年生に上がるんですけども、実際に（とうはんようけんとう：不明瞭）聞いたら、別に俺も小学校に（いつつくら：不明瞭）なくてもいいんじゃない。別に何も苦労してないよ。

それで、一番上の子は中学校へ行って、今年の夏、（ひまわりプロジェクトで）ひまわりが咲きました。そうしたら、遊びに行った帰りに、遊びに白中の子どもたちをいっぱい連れて来て、ギャツギャツと騒いでいました。

そのように、こっちの子が向こう行ったからって、何ら心配することないってこうやるのかもしれないけども。変な見方をしないで、全然問題ないと思います。

逆に一部の人が、こっちの方が虐めですか？そういうのがあるとか、どうのこうのと言いましたけども、全く人数が少なくてそういうことはありません。

向こう行けば行ったなりになじんで、今言ったように、子どもと一緒に中の人連れてこっちに来ます。

だから、今、言ったように、もう無理にあの廃校するとか、そういうことはしないで、流れのままやって、どうしてもだめだったらやるというふうにして、あの子どもは子どもにそれなりに大きくなったように、順応をしてやっていきますので。

よくそのところを踏まえた上で、結論をした方がいいんじゃないかと思います。

焦ってやったところで、あの時はこれすれば良かったなあ、ああこうすればよかったなって言っても後の祭りでもう取り返しがつかなくなっちゃいます。

さっき（地域住民）さんが言ったように、そんなにやりたければ、記念碑でも作ればいいじゃないと言いましたけど、やりたかったら作ればいいと思いますよ。大山地区の人、それ誰も見る人もいないと思います。

だからよく子どものこととか、そういうこと考えてやれば一番いいんじゃないかと思います。後悔ないように充分にいろんな意見が出ると思いますので、それを聞き入れながら、もうちょっと長い目で見て、どうするか判断してもらいたいというのが、自分の考えです。

ちょっと変な話をしてしまったのですが、意外と子どもって大事なことです。いじめということは大山地区はほとんどないです。

・6人の文教厚生常任委員会の見識の高い、経験豊富な皆さんが、もう腹は決まっているんだと思っています。後で言いますが、議会だよりにそのように皆さんが書いていますからね。

それで、前段に申し上げるのは、皆さん、皆が怒っているんですよ。その怒っている気持ちを皆さんがどう感じているかなんです。

今、能登半島で大変な災害が起きていますが、我々はかわいそうだな大変だなと思いますけれども、当事者の気持ちなんていうのはわからないでしょ。当事者になってみないと。

ということは、ここも大山地区に住んでいるみなさんのお気持ちと。6人の議員さんは大山在住ではございませんから、外から大山地区を見えています。高いところから。だから気持ちがわかるようでわかっていない。

先ほどから、相当数のかたが話していますが、皆さん怒っていますね。

要は、そういうふうに、地域のことを解らずに、一方的な乱暴なご提案で、こういう令和7年4月1日廃校、これ一本だけで、昨年8月から住民説明会3回で、終わりにします。決定します。と言うことであなた方は投げられた。その答えを出さなくてはいけない。ということで、

今日こういう集まりを企画してもらったんだと思いますが、今、出ることは先ほど言った当事者の気持ちなんですよ。

でも、廃校の結論の腹は皆さん決まっているんです。これを見ると明らかです。

先ほども出ましたけど。明治22年町村合併以来、百数十年に渡って小学校と役場を荒井新田において、我々の祖先の、先祖の人たちが大山村というのを、地域をつくってきた。その恩恵を受けて、今、私たちが生活できている。

私たちは、もう私も後期高齢者ですから、このいい地域を次の世代にバトンタッチしていかなくてははいけない。という使命がありますから、皆さんには、きつい言葉で言わなきゃいけないこともあろうと思いますけど、お許し願いたいと思います。

3回の説明会で市長さんは一度も来ません。副市長さん、教育長さんが、矢面に立って前面に立って説明してくれました。

ただ、あの方たちは、あなたたち以上に白岡の住民ではありません。大山地区の事なんか全く、いつ来たのだからわかりませんが、白岡市に赴任されてから大山地区ってのはどんなところだろうというふうな、そんな感覚だと思います。

ですから、こういうことが起きてしまった。先ほども聞いたけど、そんなこと言った覚えがないとかいう話がありました。学校の説明会の中でも、教育長さんが、そういう答弁をされました。

皆さん6人の文教委員さん、3回の説明会に何回おいでになったかわかりませんが、今の教育長さん、「ええ、私はそういう発言をした記憶はございません」とか「なんか覚えがありません」とか質問をされたことに対して、全然真摯な態度、丁寧な説明が全くありません。国会答弁みたいに記憶にありませんとかね。たった三か月か半年前のお話をそういう対応してきた結果が、こういうふうになってしまったというふうに思っています。

非常に子どもたちのことを心配して、大山地区のことを心配してという発想かもしれませんが、ボタンの掛け違いでとんでもない事に今なっている。気持ちですよ。気持ち。そういうことを調べるために、今日は皆さん聞いていただく時間を作っていただいた。感謝をいたします。

決まっているだろうと私は明言しますが、ここにある12月議会の議会日より、皆さんの発行している議会日よりがあります。14ページ、三委員会が視察をしてきました。見たこと聞いたこと、そして考えたことをご報告いたします。ということで水戸市の小規模特認校の先進地の学校ですか？教育委員会ですか？視察に行ってきましたね。皆さ

んの時間と公費を使って、多分一泊かでやって来たんだと思いますけれども。

水戸市の大山小学校でやっている小規模特認校。全く同じ小規模特認校を水戸市でやったんですね。大成功しているんですね。という報告をあなたがたが市長さん教育長さんをはじめ、私たちに報告をされています。誠にご苦労様です。

同じことをやってほしいなあと思っていますけれども、でも大成功を見て、聴いて、そして私たちが考えました。そして、こういう報告をします。という報告を皆さんが出しています。

もう一つです。今朝、行きあつたら、ここに(地域住民)さんという方がいるんですが、私は、山形県の高畠町出身の方がここに居るんです。(町長さんが一つ下です。)

そうしたら、この報告書。かいつまんで読みますが、平成18年から平成28年まで10年間の計画を立てて、統廃合しました。中学校ですからを大山小とは違いますが、学校の統廃合ということで同じですね。10年間をかけて、統廃合をしました。延べ154回の地域説明会を行いました。延べ人数2716人の住民の方が参加しております。そして結果立派な中学校、大学に見劣りしないような立派な中学校が完成したそうですね。皆さんが報告しています。

成功の要因はなんだったんでしょう？ここに書いてあるんですよ、皆さん。少子化による学校統廃合の課題に向き合い、早々に対応したことや、保護者や住民に、細かく、丁寧に、意見を求める場を数多く持ったことと考えています。みなさんが書いているんです。

何です、大山小学校のこの対応の仕方は？半年で3回の説明会で、ろくな答弁もしないで、ろくな企画もまったく持ってないで、3月までに立派な大山地区の何とかの対策を発表しますという副市長さんがみんなの前で明言をして、皆さん期待しています。

全く違うじゃないですか。全く違うことを皆さんが報告したということは、これに皆さん賛成なんですよ。報告しているんだから、私は最初に皆さんが腹はお決まりなんですよという話をしました。お一人参加していませんけれども、多分その一人も同じ気持ちで、たった6人しかいない文教委員さんですから。私は違うよ。私が書いたのではありません。私が報告したのではありませんという委員さんはいないと思います。6人全員が総意の下でこの報告書を作った。

この報告書だってただではありません。みなさんが勉強に行ったのもただはありません。すべて私たちが納める税金でやっています。

私は、皆さんのこの報告書を見て、あ、これは大山小を児童を増やす対策をするんだろうなと期待しています。皆さん、そうだと思いますよ。

私ざっと読んだのですが、だって説明会も期間も全く違って、対応の仕方も全く違いますから。

皆さん、本当にここで生きている人は、ここで生活している人はここから逃げられません。(地域住民)さんのおっしゃる通りです。ここから逃げないです。

できれば、自分の次の世代の人たちが、もっとここでこの地域を盛り上げて欲しいと思っています。

是非この地域の皆さんの腹を立てている気持ちではなくて、この大山地区を何とかしようという気持ちを汲み取っていただいた結論を是非出してほしいと思います。よろしく願いいたします。

2 「地域の活性化について」のご意見等

・大山地区の活性化、市長は4年前に市長になって公約を一応出してくれた。しかし、この間何一つ出来ていない。これでこうでって言うが、私達からすると、4年は長い。藤井市長は勉強ですというが、市長になった以上は勉強してからなってくださいよと。

この四年間、私たちは期待していた。十年前から私たちは質問してこうしてほしいとずっと言ってきたが、何一つ聞いてくれなかった。だから今、大山がこうなってしまった。トップの考え方ひとつ。市長は公約した以上はそれに向けて走っていただきたい。

道の駅も十何年前から私たち質問で作ってもらえないかという要望をしてきました。ただ、道の駅はできないっていうのは14、5年前からもうわかっていること。それに代わる農の駅とかなんの駅っていうのはできる。それをやらない。4年たっても一步も前に進んでいない。私たちはがっかりした。

下大崎からバスが出ているが、ここからバスに乗ると蓮田に行ってしまう。住民がバスに乗って隣の市に行ってしまう、こんなところ住んでいられないと誰でも思う。車の免許持ってなければ買い物に行けない、生活できない、こうしたのは誰ですか？

私からすると町政ですよ。ピラミッド型政策をずっとやってきたからです。農村センターだってなくなってしまうんじゃないか。先祖代々の土地を売って税制改正し、豊かになってきた。それを大山の為にいつも使っていない。これは誰が考えてもおかしい話。大山にこんなのができるんだよって話をしたい。

みんな、できれば残してもらいたい。人数を増やしてもらいたい。そういう政策を市にやってもらいたい。統廃合なんか賛成する人は誰もいませんよ。人数が少なくなったから仕方なく廃校しかない。人数を増やすには十年前からいっているけど、市が何もやってくれないから人数が増えない、それが結論。

早く子供たちのために良い学校統廃合の学校、安全な通学の方法を考えていただきたい。

・大山小学校の感謝のついで、子供たちが歌を二曲歌っていたんですが、もうこれで校歌が聞けないのかなと思うので、私もこの小学校を出たから、一緒に子供と歌おうと思うが、どうも目頭熱くなって歌えなくなってしまい、こういった思いを日勝地区の方も同じような道を辿るんじゃないかと。

早く環境を整えて学ばせてあげたい。学校がなくなれば地域が衰退するのが当たり前、教育局だけじゃダメ、オール市役所でやっていただかないと。市は全然考えてない。どこが住みよい白岡なんだと言う感じがしている。本当に均衡ある発展を作っていただきたいと要望する。

・バスも蓮田駅だけではなく、近くの駅に直でいけるように便が良くなるといい。新白岡からほぼ一本道で大山地域まで来られるのに、そこにバスがないのがもったいない。学校に通う人などが利用できるような交通手段があれば、いいと思う。

・田んぼダムのために水田の開発だけは反対をしたい。

・お金がかかっても、大山を活性化させないといけないという考え方を持っていただきたい。

・インフラ整備をしなくても大丈夫だから、住宅を建てられるように、増やすべき。

・もう一つは、（議員）をはじめ議会の中でも色々と議論されていますけれど、やはり地区にとって(廃校は)大変なことでありまして、非常に不安になる。これからどうなるのだろう。衰退の一途ではないか。

ここに来て、色々高齢化が急速に進んでいます。それは予期できたのでしょうけれども、そこはずっと皆で先手を打たないまま来ているわけですが、そういう中で、そのことについて市の説明会では、初め（説明会が）があった時には、副市長なりが、「そっちのほうの振興計画も3月までに決めますから。出しますから」としっかり言った上で。

廃校についても、「子ども達のことを思うと、これは早くしたほうがいいと思っているので早くやりたい。こっちの方もちゃんと一緒にやりますから」という話がありましたけれども、そっちの方の話は、

こちらで意見交換会がありましたけれど、「非常に大山は圏央道ができてポテンシャルが高いですから期待できますよ。こういうことを考えています。ああいうことをやるかもしれません。こういうことを考えています」というバラ色のような話はされましたが、では、「具体的に文章で、何をいつまでにどうする」とか、「どういう方向で持っていくことを市としては決めている。具体策はもうちょっと待ってくれ」とか、そういったことは一切示されていません。

そういう中で廃校だけ先に決めるってどうでしょうか？もうふざけるなという風な状況というのもあります。

・あと地域のことで色々と、地域の交通機関を色々検討してくれという話があります。

申し上げたいんですけど、昨日、私は、バスで帰ってきたのですが、（行政区）はですね。（行政区）まだ比較的近いんですけども、（行政区）は白岡の端なんですけど。今は蓮田からバスが来ている。

でこれはあの蓮田駅からは、夕方であってですね。1時間に三本ぐらい出ているんですけども。八幡神社というところで止まってしまいうんですよ。高虫の。

でまあ、あのマルヤというところにもあの八幡神社のようなステーションがある。マルヤまでできてくれば一時間に二本か三本蓮田からバスが来るんですよ。

ただバス代だって450円です。（行政区）まで来るのに。で今は。八幡神社で止まっちゃうので。

こっちに来るバスというのは、1時間に1本。あればいい方。ない時間帯もある。（そうですね、2時間1本です。）

だからもう卒業した子どもたちが高校に行くといっても公共交通機関ですね。（ないから）行けないんです。それが実態なんですよ。

ですので親が送って行っているんです。まあ、男であれば自転車で行く。あるいは走って行けばマラソン選手になると（というような）いいことがあるかもしれないけど。そういう実態にあって。

そういうことに対しての何らかのご支援というか措置を是非お願いしたいのと。

いろいろ検討される時に、（行政区）からするとですね、伊奈のシャトルが一番近いです。あそこの定期バスをですね高校生が通えるような定期バスでも橋戸から定期的に出してもらえればですね。

また、老人であっても、あそこにはスーパーとかありますし。そういう面もありますから、そういったことも付け加えてお願いしたいと思います。以上です。

・ちょっと古い話をしてしまうかもしれませんが、いろいろとちょっと大山小学校の件で調べてみたのですが、大山小学校が始まったのは明治22年6月1日って書いてあるんです。

それで、その中に何か文言みたいな、こんな変な事書いているんですけども、「緩やかに流れる元荒川の流域にマコモやヒシなどがたくさん生い茂っていた大きな沼があった。沼のほとりに小さな小学校ができた。これが小学校の始まりです。」と書いてある本がありました。

思い返すともう130何年経っている学校です。

その後、いろんな戦争があったかもしれませんが、よく振り返ってみると、昭和51年頃ですか？沼の干拓工事が始まりました。それで、皿沼がなくなって柴山沼は整備されました。

田んぼはあのパイプライン化して、今までの田んぼとは見違えて一変しました。そのあたりから、農振地域という言葉が出てきたのかというふうに思っています。

その後、昭和43年ですか、自分たちが小学校を卒業するころ、大山中学校がなくなってしまいました。それで篠津中学校へと統合されました。その後、白岡中学校が新設されて大山の中学生は白岡中学校へと言うように中学生になりました。

それで、全国的にこの頃からもう少子化、少子化と、言われていますけれども、大山地区においては、その頃からの転出者がかなり増えています。

なかなか人が増えるというか、継続というのが難しい時代になりつつあります。そんな中、振り返ってみると、平成11年ですけども、ある先輩方が、柴山地区活性化推進協議会を発足して、その11年の11月ごろだと思うのですが、当時の市長さんの方に、「大山地区に人口が増え、児童も増えることを望んでいます。その増える方法をご支援ご指導お願いします」と、（行政区）地区のなんと441人の署名を持っていきました。これ事実なんです。

その後、回答が翌12年の3月31日付けをもって返ってきました。その回答をかいつまんでまとめて話しますと。

「大山地区につきましては、首都圏中央連絡自動車（要するに圏央道）のインターチェンジの設置に合わせた、周辺地域の整備や柴山沼周辺の豊かな自然環境を生かした地域の活性化など、10年後、20年後の将来の位置づけを検討してまいります。」という回答が返ってきて、ここに至っているのですけれども、その10年後、20年後は現在です。

何かどこか変わったかな？と思うんですけど、何か変わった様子はありますか？これが現実なんですよ。

先ほど、お子さん方と言いましたように、（行政区）の方とか大山区の方がいろいろ話をしているんですけども。「考えます、考えます。」って言っても、10年後、20年後して変わるかなと思って期待して、こうして何も変わってないです。これが現実です。

・(年月)から(行政区)の住民になっておりますので、あまり発言権はないですけど。

廃校の問題、ばかじゃないのお前達は？

こんなこと言いたくないけれども、この前なんとか党が県のなんとかに出しましたよね。おうちから出したらいじめになるみたいなことだったけど、あれとまったく同じ法案。

こんなので住民に聞いてうんぬんじゃない。あんたたちが考えて止めないとだめ。恥ずかしいよ。住民に聞いて賛成だったらやりましょう。反対だったらやめましょう。じゃあお前たち何だと、町の将来を考えるんだろうか？だったら真面目に考えてやらなきゃダメ。

で色々聞いたけど、予算の問題とか、あるいは少子化、子どもが少ないと、いろんな問題が起こるからって言っているけど、そもそもそういう状況を作ったのは、あんたたちだろうが。議会だし市の行政ですよ。ここにも関わっている人はいっぱいいるけど。

じゃあ聞くけれど、予算がない教育予算がない。それは街の予算を食いつぶした行政でしょう。僕ら関係ないよ。僕らが予算を食い潰したことはないから。予算を増やす、あるいは市の財政を増やす努力をしなかったわけだから。それを住民に付け払いしたらだめ。

あるいは聞くとところによると、小規模校だとなんだかんだって言うているけど、じゃあ20年前、30年前、子どものない母親は、子どもの心がわからん。障害者をもつ親は、それはそもそもそいつが悪いんだというような議論があった。今そんなことはないですよ。

今、小規模だからこそって言って、障害児の施設も、あるいは、学校に行けない不登校な子どもたちの施設も、小規模でこういうところに作ろうという時代。

僕は学校は子どもがいなくても無くしちゃだめと思っている。それは、なぜかっていうと、学ぶ場所を持っていないと街自体が潰れるからです。

私がもし、もう少し頭が良かったら白岡には来なかった。こんなつまらない街に来て、わたしはもう(年齢)だからね。子どもがいなくてもまだいいけど、30代で白岡いいから移ろうかなと思ったときに調べますよ。市の行政とか教育、政策とか。来なかったです。

私は32歳で(地域)の山奥に住んで開拓農業をしました。その時に子どもが4人おりました。小学校一年生を柱に。案の定、いじめられました。小さな学校だから。それは当たり前でしょう。小さな学校だからこそ小さい頃から一緒に育っているわけですよ。よそから来た子はよそ者だから。

でもPTAの人たちがあたたかく迎えてくれて、じゃあ(個人名)の為にね、もうちょっと子ども増やそうよと、山村留学を始めてくれました。

私のうちで(地名)市内から子どもたち3人、山村留学に入れて、子どもたちを増やします。そういう努力などしていないじゃないですか？

できるんですよ。近くの町から子どもたち呼び寄せて子どもたちを増やすのが簡単です。受け入れればいいんだから。

残念ながらその小学校ももう一つの小学校もね。複式学級になったり、それでも続いて。なぜかという、その頃の動きがあって、村全体が、農家民泊とか農家民泊の受け入れ子どもたちとかそういうことやっているからまだ続くんです。

そういう努力をするのがあなたたちよ、僕らがやるんじゃない。住民がやるんじゃない。そういうの提案して住民にどうですかって言ったら協力しますよ。もうちょっとね、真面目に考えなきゃ、(議員)。街が潰れるんだよ。

実は今日ね、僕はこんなところに来る予定は無かったの。実は、(地名)から友達が来て、いろいろ農作業をして、蜂蜜作ろうって言っている。

で彼らと今話をしているのは、もう、ぜひこっちに学校があったら連れて行きたいねというような話をしています。

僕は開拓農業時代にね、デンマークとの交流事業をして、フォルケホイスクーレと言うのを作りたいと思って作りました。今年はその看板あげます。別に大山小学校とか関係なく。いじめられた子どもたち、或いは学校にまともに行けない子どもたちを受け入れる施設を作ります。(個人名)さんの前の家借りることができたのでね。

あんた達の一人でも、そんなことやってんのかよ。身銭を払ってそんなことやってごらん、議会なんか行かないでいいから。

あそこに帽子があるだろう。分かる？わかんないだろうが。手伝いに来たか、お前たちが。

100万円の予算を東京からもらってやりますよって、みんな賛成してくれたこの人は。みんな手伝ってくれた。子どもたちも。それが村をつくるわけ。

子どもたちが住む環境、子どもたちを育てる環境をなくしてしまったから、学校が機能しなくなったわけね。

人が住まなくなった所は孤島ですよ。ここもいずれそうなるかもしれないと思うでしょ。とんでもない。新白岡が潰れてもここは潰れないよ。歴史がそうだから。何にもない時代から、ずっと続いているんだから。

人が住んだからこそ、大山小学校は昔できているわけ。そうでしょう。人が住まなければ学校はいらない。学校がないと人が住めないの。後から来る人たちが来られないから。でしょう。

子どもたちを増やすって(言っても)。こう言ったらいけないけど、私も含めてもう子どもは増やせないのよ。こういう人ばかり。増やせる人達もいるけど。でも新しい人たちが来ないとおかしくなるじゃない？ここに育った人たちがばかりで子どもつくるなんてできないだろう。いろんな人たちが入ってこないといけない。

いろんな人たちが入ってくるためには、まず学校がないと来られないよ。若い夫婦が来て「あ、いいな。住もうかな」と思った時に、小学校がないんだどうしようかなということになるでしょうが。

私は、開拓時代に(地域)におり、村が潰れるのを見てきた。一番最初潰れるのは中学校が出て行ってから。中学校が出て行くと、だんだん下の子ども達いなくなるから小学校がなくなる。そして特定郵便局もなくなる。特定郵便局がなくなったら農協の支所がなくなる。これで完全に村が途絶える。小学校を潰すかどうか最後の砦なんですよ。

だから子どもがいなくても潰しちゃだめなの。残しとかないといかん。そしていつでも子ども達が来たら再開しますよと言う形をとらないと。そして初めてよそから若い夫婦が来る。あるいはここ出身の若い夫婦が戻ってくる。人が住めると言うことになる。

先ほど申し上げましたけど、こういう会を作ってくれたのはありがたいけど、まずはあなたたちの問題。自分たちで考えて、もし本当に自信があってね、大山小学校なくていいって言うんだったら、大山小学校をなくしてよかったって石碑を立てなさい。「私たちがこれだけ賛成して大山の人たちのためにいいことしました。」って連名で書きなさいよ。あとでおれが笑う。ばか者どもの碑だと。

私は(地名)で、開拓農業しているときに、私が、開拓農業の委員長の名前で大きな石碑が立っています。ちょっと恥ずかしいなあと思っていますけど。土地改良事業ということで、土地を集積して農業がしやすいとの文から。大きな石づくりの碑が立っています。私が一番最初に名前がついています。

もし、本当にあなた達が自信を持って小学校をなくした方がいいと。末代にわたって良いことしてくれたというようなことが自信があるんだったらぜひ、そうしなさい。

この前、テレビでやっていましたね珠洲市が。あのとき原発反対してよかったねって。そういうことになるのよ。

もう見えているんだから。学校なくしたらどうなるのかは全国どこでも見えている。おそらく、小規模校ほど何とかっていったら、全国の小規模校から批判がドンと来るよ。もし自信があるんだったら、新聞でもなんでも言ってみたらいい。

それと私は、ご存知だと思いますけど、ずっと高齢者の事業をやっていますが、問題があるのだったらそこで解決しなくてはいけない。学校に問題があるのだったら、学校残して解決しなきゃいけない。

老人問題も一緒です。認知症がある、介護を受ける人がある、村からどんどん出す、何もならない。みんなで助け合って生きていこうよと言うことを見て。そこで子どもたちも次の人たちも育っていくわけですよ。身の回りから期待の眼をどんどん外に持つて行くからこうなるんです。できれば、このまま学校なんか要らないから、子ども達に外に出て欲しくないなって本当に思う。

私は今、東京に頻繁に行っているけど、原宿とか、いろんな新宿とか行くけど、あんなキラキラしたところに子どもたちが夢を持って行ったって何もないんだよ。

でも、学校教育はそういうのを教えるでしょう。都会がいい科学的な物がいい文化的な生活が良いみたいにキラキラしたものを教えるわけですよ。それは、こんなところに育っているから、華やかなものをいいと思っていくわけ、だから出てしまう。日本の学校教育が全部そうですよ。

(議員)、わかると思うけど、頭がいいやつが東大に行く。東大って年間何万人卒業する？3500人。十年で3万5千人の東大生が出て、日本が良くなってないじゃない？よくなったか？誰が考えてもおかしいだろう。東大生3万5千人が白岡市に全部来てよくなるのか。ならないでしょう？ならないのよ。歴史が証明している。

文句も言わずに、黙って仕事をする私たちがいるから、国は成り立つんですよ。頭のいい金持ちがいたって国は成り立たない。

今度、本をちょっと見せてあげるけど、江戸時代、外国人がいっぱい来ました。ペリーとかハリスとかシーボルトとか。あの人たちが日本に来て江戸よ。まあ長崎に行ったでしょうが。日本に来て一番びっくりしたのは乞食が居ない。まあ、ちょっといたんだけどね。それと子どもたちがみんなふくよかな顔で笑顔で走り回って。子どもたちが怒られて泣いている姿を見たことがない。子どもの天国だって書いてある。でも一歩うちに入ると、おうちの中が全部見えてしまう。それぐらい何もないおうちばかり家の中に入るとダンスもないし、テー

ブルもないお茶碗だって人数分しかない。こんな貧しい人たちがなぜこんなに笑顔で福々しいだろうか。外国人が来ると、もうあれだこれだといろんなものを持って持ち寄ってくる。すごい国だ。そういう日本をつぶしたのは何ですか。近代化ですよ。西洋の近代化。

地道に働くこと。地道に自分たちの住んでいる所を守っていくこと。日本の農村はね、世界で一番美しいと言われたのよ。本当にゴミ一つない。そういう街をつくるのが、あなたたちの仕事。

住民の意見をぜひ聞いていただくのもいいけど、まずはあなたたちがどうするか。自信もって町を良くしようっていうために市会議員になっているんだらうから、命かけてやってください。

今年もひまわりプロジェクトやるので。野良着に着替えて手伝いに来て下さい。ぜひよろしくお願いします。

・前々からずっとこういう議会とか(に伺い)、この間の議会も傍聴に伺いました。(議員)の熱い答弁ありがとうございます。

僕は廃校反対派なんですけど、前々から言っているのは大山地区の地域性、市街化調整区域、一つも都市計画区域がないんですね。

ということは農地を守ろうっていう法律なのか、県がいいように使いたい土地なのか、意見はわかりませんが、今もう家を建てるなという土地なんですよ。許可なしには。農家の後取りさんとかには、特別に除外で許可しますよっていう土地なんです。

それでも農家が後を取りたいのにも、二年も三年もかかるような家の建て方しかさせてくれないです。それで白岡市、11号地域とか12号、白地、青地ってあるんですけども、加須市なんかは白地作って農地共存で少しちょっと建物ができる土地を作ろうっていう土地で区域分けして建築ができるように除外するんです。

それで、そういうことをこの前、議員さんがきた時に、「じゃあ大山の活性化はどうやったらいいんだ」って市長とかが言って、僕、手を挙げて、「そういう地域を農地とかそういう共存していくために地域を作ったらどうですか」って何回も言っているんです。

そうすると、ある議員さんは「そういうのは、県会議員に言ってくれ」って言われました。市会議員はどうにもなりませんで、じゃあ「そういう地域を作ろうと思って、あなたたちは、そういう案をあげているんですか」っていっても、「そういうのあげても、ずっと県に突っぱねられるから無駄だ」って。で「大山はもう人数が増えません」ときっぱり言われました。

あ、そういうもんなんだと思って、よくよく調べたら加須も全部、何十年も前からそういう案を挙げて、やっとここで作れているんです。

その案を全くあげないで、議員さんは、何年後かに(小学校が)一人になると、じゃあ、あなたたちその一人になったその子たちに対して責任取れるのかってよく言うんですけども、地域の発展と小学校の廃校とか、そういう問題ってというのは、対で一緒にやらなくちゃいけないと思っていて、廃校するなら、その点の案を上げていただくとか、約束していただくとか、そういう案を出してもらわないと、絶対これは賛成なんかできるわけない。

もうそれは、もういやじゃあ廃校します。ただ、何年後にはこういう案を必ず作り上げますんでっていうことを。提示してください。廃校にするのであれば。それが対です。

・白岡って(大山って)、三村合併の時の一つの村ですよ。そこを潰そうとしているんですよ村全体を、大山小をなくすということは。その重大さというのをやっぱりわかっていただきたい。

一つの村を小学校なくすことによって破滅というか、限界集落にさせようとしている。そういう議案(議論)を今していると思っています。

学校をなくすということは、そういうことなんで、それだけこの議案ってというのは、責任の重い議案だと思っています。

市長に、この間来た時に、大山小のために何かやっていますかって聞いたら、「水道工事、水道管を直しています。排水を直しています。多額の費用をかけて。」そういう次元の問題なんだ。大山小じゃあ水が出るのは市長のおかげなんですね。って。そうやって言われたんです。だから、もう全然道の駅とか、そういう案なんていうのはもうどっかに消えちゃって。やっと水が出るぐらいまでもってくのがやっとなんです。って市長は、そう言われました。

あとさっき言われた通り、市長は皆さんの意見なしには議会には提出しません。って、ここではっきり言いましたから。それで、何もなくて市長は、廃校を、なんかランタンナイトかなんかで傷ついちゃったのかわかんないけど、運動会に来て、一人泣いた子を見て、なんか傷ついちゃったのかもしれないですけど、廃校しますって言い出したので、もう全然それは、虚偽のことをこの住民、この間来てた人はもうみんな聞いていますから。虚偽のことをやっています。以上です。

・本当、大山地区って何も変わってないので。やっぱり本当に審議に、真剣に考えて貰わないと。うちも男の子2人いますけど、多分居なくなりますよ。ここにいてもしょうがないって言い始めています。上も大学終わって今年就職で、下も大学生になりますけど、多分残らないですよ。

本当にもう。明日、明日、もう毎年、毎年、だんだん、若いつもりだけど、どんどん年を取っているんで。本当にもう。今年、来年のうち早急になんかメスを入れてもらわないと。住宅で言えば、どんどん白蟻に食われていて手をつけないうちにどんどん崩れてくる。大山地区も一緒です。

能登の震災じゃないけど、本当に震災が起きたら、この大山地区、（行政区）地区、間違いなく液状化でぐちゃぐちゃになります。断層も走っているし。それで、あの避難場所が大山小がだめになっちゃいましたって言ったら5キロ6キロ先まで歩いていくんですか？お年寄り。本当そういうことですよ。で、いつ元荒川だって切れるかわかんないですよ。うちも元荒川のそばなので。防災マップ見るとうち2メートル50ぐらいになっていましたよ。ほぼ一階は埋まります。その時に逃げ場がないですよ。その辺も踏まえてもらって。

小学校なくなった時点で、おそらくもう。大山、死にますよ。間違いなく。今までずっとそうだったんですから。やるやるやるやるって言って、なんか変わりましたか？本当に毎回ですけど、うちの前が舗装されたぐらいです。田んぼ区画整理されて、セブンイレブンがやっとな出来て。それだってね、歩いて10分ぐらいかかるんです。だから圏央道ができて、こっちは発展する発展するって議員さんも市長さんも言っていますが、結局何も進まないじゃないですか。

・話で上がってくるんですけど、（行政区）の方の工業団地、用地買収が始まっているって聞きますけど、企業側は水が出ちゃってどうにもならないって言っているらしいんですよ。その水が出ちゃったときに、（行政区）側が水浸しになっちゃうから保障できないっていう話も聞いている。だから買収の方がおそらく進まないようなことを言っている。だから市長もただ、工場が来ますからとか言っているみたいですが、それも当てにならないようなことは、もう地元の人っています。

それだったらいち早く、やっぱり商業用地と住宅用地、特農がもうじき外れるので、その辺はやっぱり真剣に県のほうに、まず手続きからしてもらわないと何も始まらないと思います。

・今後の大山地区ということで、まあ後で話していいかと思ったので、先ほど話した通りなんですけども。（住民の方々）のいい話であって、全くその通りだと思いますね。

自分が考えていたのは、あの白岡全体のあの地図を見ると、ちょうど工業団地あたりであの亀のような形をしていて、大山地区がちょ

うど頭を出しているっていうのか、分断されちゃっていて、その甲羅の方は、鉄道が通ってかなり発展していると言うようなのはあると思います。

ただ、この地区においては、122号線であつたり、稲穂通りとかそういうのが通って、近年、圏央道のインターチェンジができて、そういうのを利用しながらも、色々考えますよと市の方は言っているようですが、先ほど言ったように何も変化を起きてない。本当に具体的な案を早めに出してもらわないと。本当に住民は何も信用も無くなって、どうするんだろうと、不安だけが残ってしまうという事になると思う。

ちょっと、大人げない話になっちゃうかもしれませんが、先ほど話したんですけども、昨年11月12日ということで。市のほういろいろ説明会しました。それで、自分もちょっと発言したんですけど、(住民の方々)さんが言うように、農振地域といっても、農家をやる人いません。

今後この土地をどういうふうにしていいのかよく考えたほうがいいんじゃないかと言ったと思うんですけど、そしたらなんと副市長さんに言われたかというのと、先ほど言いましたように。「この地域は農振地域で人口の増加は全く見込めません」と言い切りました。そして、「発展もない」と言われました。それで、(説明会に)出た人達はもう啞然として何を言ってよいかわからない。言い返す言葉も出なかったんですよ。これ事実ですからね。

そういう事を市の方で考えているかなと思って。地元の人、本当に意見をいろいろ言ったところで、それを飲み込んで、あの具体的にどうしようとか、みんな真剣に考えているんですけども、そういうことを考えてくれるのかと。もうこの辺がどうなってもいいという風に考えているんだろうというふうに思ったことがあります。

こうなってしまったのは、いろいろこの地区の流れもあるかもしれませんが。世の中の少子化少子化と言っていますけれども。思い返したのは、古き日本の伝統ですか、家を守るっていうか。そういう伝統があったと思うんですけど、ある時期から個人を尊重して、自由を尊重するっていうか、そういう教育、そういう時代の流れになって、そういう流れの中にこの辺も巻き込まれちゃって、先程言いましたけれども、結婚したらこの辺何もないから出ちゃうよと。そう言われた時に残っている我々が、どうか一緒に住んでくれと、頼み込む術が何もない。だから、これってすごく悲しいことであって。もう、先の無い所に、たぶん若い人たちが住まなくなっちゃうと思う。

自分なりに色々考えたんですけども、市長さんはせめて道の駅道の駅と言っていますけども、これはとてもとても現実に実現するような

ことじゃないかもしれませんが、道の駅なんか作ったってしょうがないと思います。どうせ作るのであれば、ミニショッピングモールみたいなのを作ればいいじゃないかと思っています。もうそういう例えばかたちのないことなんかやらないと駄目だと思うんですね。

それとあのでかい駐車場。人が集まるような。そういったものを作って。あの先ほど(住民の方)が言いましたけど、東京の人が来ても遊べるような広場とか。ただで遊べる広場とか。そういうのを作って、人がちょっと集まりやすい場所作るとか、そういうのを作ればいいんじゃないかなと思っています。

ただ、道の駅を作ったところで、売る物何もないし。作るだけ無駄かと思っています。それであれば、一般的にみんながちょっと買い物できる場所とか、そういうところを作った方がよっぽどいいじゃないかと、地元の人のお買い物に行けるし、自分だけの考えか分かりませんが、やるんだったらそういう方が良く思います。

それで、柴山沼をよく開発します、開発しますって言っているが、具体的に開発計画があるんですかね？もう長年そんなこと言っているけど、先程言いましたように、干拓事業があったと、なんも変化もないし。それで、この前のあの11月12日に話したんですけど、自分は遊歩道があれば、十分だと思っているんですけど。東屋とかちょっと休める場所があれば。大分汚れちゃっていますので、もうちょっと綺麗に整備してもらって。あの周りを歩いた人がちょっと休める場所があれば十分だと思っています。お金かけてもしょうがないです。

とてつもないことを言うかもしれないけれど、端っこに山があるんですけど、もうちょっと高くしてもらって、冬になると富士山とか見えるんですけど。今でも十分だと思うんですけど、ドイツ語とかフランス語とか。そういうわけの分からない言葉並べて標識建てて、遊びに来ている人が「なんだこりゃ」と思うくらいの遊び心があってもいいんじゃないかと思うんですけども。ただ、整備するといって何もやらないよりいい。

よくあの辺、旅客機がよく飛ぶんですね。どこから来たのかなというふうに思い起こしでもできるかもしれませんがね。あれがじゃあ、あの韓国から来てどこ行くんだろう？成田から羽田かな？と言うような標識を立てるのも面白いかなと思っています。そういうことで、開発することもいいんじゃない？お金かけてね。整備するとか綺麗にするとかなんか十分だと思います。

・それを優しく聞いて。誠実にこたえて。(地域住民の方)さんが言われていたように、そういうことを大事にしたいと。多分これ潰れちゃう

ことがあるんで。(地域住民の方)さん、我々の活性化でコスモスだポピーだって咲かせました。(地域住民の方)さん来てひまわりだって咲かせました。

個人的に考えているのは、田植え体験ですけど、ある日、子どもも少なくなってしまうと、やらなくなってしまうのだけど。ほんの少しでいいので、餅米かなんかまた植えて、秋口になったら、餅でもついて、白岡地区の小学校の子がこちらに来て、交流をもてれば一番いいのかと考えています。ですので、小学校の件も潰さないで。一緒にうまく。交流しながらやっていけば、その対策も含めていいかなと言う風に考えています。

・あと、市の方では何かやっているんですかとかってありましたけど、実際、私も柴山沼の周りを朝、散歩しているんですが、そこにですね、最近は結構、所沢のナンバーとか、あとは関西とか、もう九州とか、そういうところから来ているんですよ。だから、そういう所(の方)を、こちらに住んでもらうような、そういう何かを作って、それでそういう人にも来てもらうようなことも考えていただきたいと思います。所沢ナンバーとか、それから。関西からもきていますので、そういう方に過ごしてもらいたい(いいと思います)。

・先ほどの(地域住民)さんが言っていたような、今年、いつだったかは忘れてしまったんですけど、夜中目覚めてしまって、BSをちょっと見ていたんですよ。それで北海道のほうでやっぱり小規模特認校をやったんだけど、増えなくて、それでどうしようかなって考えてやっぱり山村留学制度をとってやったら一年生の一人しかいなかったんですけど、そうしたら、そこ2,3年で十人ぐらい増えた。でやっぱりそれで全国から集めて山村留学制度をとって、やっぱりそういう風に、どんどん町は衰退しているけど、あの子どもが集まってくるってことをやっているそうなんです。それはやっぱり市の方が住宅を提供したりとかしているんですよ。

中にはさすがに北海道までは行きたくないって人もいると思うんですよ。だから、そういう山村留学制度を白岡市の方も小規模特認校じゃなくて、そういうのをできないのかなとテレビを見て思ったんです。だから、その辺の提案とかもしていただいて、すぐ住宅を建てるようなことを、すぐできるわけでもないんで、だから、県営住宅の空きを利用して、市内だけの募集じゃなくて、ある程度広い範囲から募集できれば。来たい人はいると思うんです。実際、北海道の寒いところに一年でも二年でも全国から来る人がいるんで、だから、その山村留学

制度をやっている都道府県とかもあるんで、その辺を白岡市の方でも考えてもらって、やってもらえればなあと思いました。

3 その他全般的なご意見等

・いつ大山小学校廃校が決定されるのかの問いに、教育委員会は、3月定例会で決定されるものとして考えているとの回答。

いつまでに統合するのかに関しては、令和7年3月31日に廃校して、4月1日からは新たな学校で通うことになるとの回答。

どこで統合するのかの問いに、3月議会で決定した段階で、学区審議会を開いて決まったものを、教育委員会で決める、との回答。

議会での決定がない限り、審議会で話はしないし、学校も決まらない。普通は学校が決まってやるんじゃないかと聞いたら、そうではないとの回答。

通学方法でスクールバスは出すのかとの問いに、当然出すとのこと。料金は無料とのこと。

統廃合された場合、子供が不安を感じていることにどうカバーするのかとの問いに、学級編成の際に複数あるいは、大きく二つのグループか何かにして、複数でクラス分けをする。統合先の学校長とも協議し、心のケアや交流事業というのも3月以降の事業として進める。大山小学校の教職員もある程度、新しい学校に異動ができるように配置する、との回答。

大山地区の活性化について、閉校後の跡地利用はどうなっているのか、また住民の意向はどうなっているのかとの問いに、統廃合後は文化教養施設あるいは教育施設の誘致、地域の拠点として活用する。イベントあるいはスポーツの場、防災の場として考える。住民の意見、交流の場として活性化協議会を設置して、継続的な会合を開催して、皆さんの意向に沿った使い方をすると回答。

また、大山地域全体の産業の福祉それに交通関係の活性化策はあるのかとの問いに、交流人口や関係人口を増やし、定住人口も増やし集落に必要な人口規模の維持を図ると回答。

交通手段としては、工業団地振興会や工業団地内の会社と協議して路線の検討をする。また、道の駅を作る話があったが、道の駅はできないので、同様な機能を持つ賑わいの拠点を作るとのこと、それから土地利用を検討するという回答だった。それと総合振興計画に位置付けますとか基本計画に定めますとの話だが、具体的な回答等は全然ない。

新たな交通手段の検討について、5年度末までに地域公共交通基本計画を策定予定で、その中で検討するとの回答だった。最後に柴山沼周辺の地域活性化について、賑わいの拠点として土地利用を検討するとの回答があった。

・文教厚生常任委員会としては、どこの学校へ統合するのが一番よろしいと考えるか？

・大山よりも町中の人の方に情報が有り、あまり情報が入ってこないのが、おかしいのではないか。

・今日の案内が学校から配布されなかった。今回の意見交換会のフィードバックはあるのか？

・説明会では、廃校が決まっています次に看護学校が入るといふような噂を聞いた。これは噂だけの話だったのか？

・大体、本会議の時に平気で副市長が市長の前に送って「それは言わない方がいいって」何言っていたのか分かんないですけど、あれはもう本当、国会答弁を見ているような感じですよ。こんなこと平気で嘘つくんだと思って。結局、市長が選挙の時だけいいこと言って。結局は自分が菁莪地区の人間なので菁莪地区の方にスーパー持ってきましたので、実際のところ菁莪だったりスーパーできるのもだいぶ縮小しちゃったみたいですけど、あんなでっかい橋かけちゃって。

・本日は大変ありがとうございました。急な廃校ということで、住民は非常に怒っています。住民の皆さんの声をしっかりと受け止めて頂き、議会に臨んでいただきたいと思います。宜しくお願い致します。

・3回の意見交換会でしたが、市の方の説明というのは一切やらないのか。

・あの決議の時に、大山小の統廃合の賛成、反対っていうのは、みんなに明確に出していただけるんですか？私は反対ですっていうような。是非、明確にしていただきたい。

- ・市長が、ちゃんと来ての意見交換会は本会議とか委員会前にやらないんですか？やるんですか？こちらの意見としては、やってほしいと思います。
- ・今日協議した話なんだけど、これが、あと1年か2年とか伸びちゃってもしようがないんでしょ。
- ・民主主義と教育は金と時間がかかるんです。